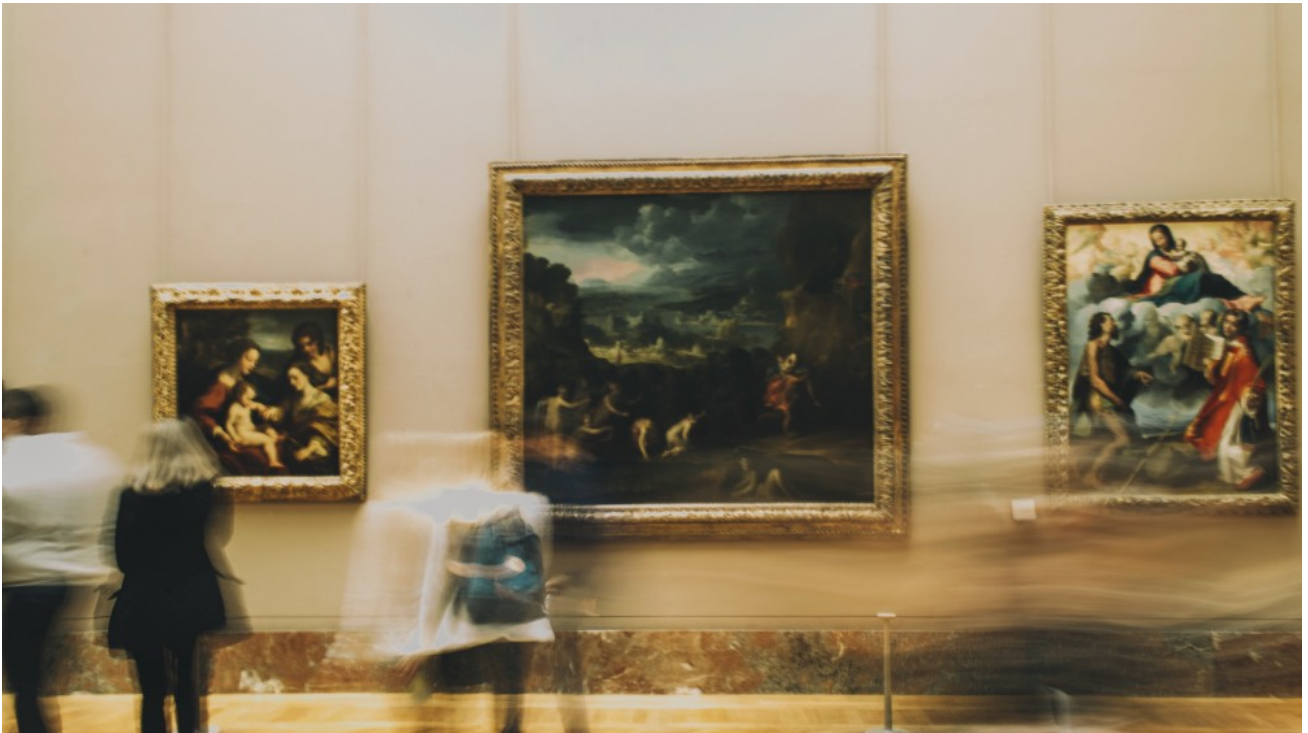


Make an Art Tour



SCHEDULE

- 12/11 (Mon) 探究スキルラーニングの目的とルーブリック提示
メンバー発表・ターゲットの情報シェア
マインドマップでターゲットに対するアイデアを出そう (タグ1)
大塚国際美術館のフロアマップを見ながら情報収集
- 12/12 (Tue) アイデア・ルートを考える
班メンバーがどのルートについて説明するか決定
“オススメの1枚/展示”を調べる
- 12/13 (Wed) アイデア・ルートの確定
“オススメの1枚/展示”の確定
- 12/14 (Thur) 発表原稿 (英文) を作成
スライドを作成
この日は2コマ連続です
- 12/15 (Fri) 発表原稿 (英文) が完成
音読練習 (タグ16)
- 12/18 (Mon) スライドに音声吹き込み→発表動画をアップロード
自己評価・フィードバック

CLASS (A / B) NUMBER ()
NAME _____

INTRODUCTION:

個人探究ではSEIKAI6.1とデザイン思考のどちらかの方法を選び、調査を進めていきます。大きな違いは「具体的なターゲットがいるかどうか」です。今回はデザイン思考の個人探究を進める練習として、具体的なターゲットに対してArt Tourを提案しましょう。場所は皆が3月に行くアート研修の場所のひとつ大塚国際美術館です。

ターゲットは全て外国人なので英語で提案すること。せっかく英語で発表するので、流暢さや発音などでIELTSのスピーキングの採点基準に見合った発表をしましょう。

MISSION: 「ターゲットに合ったArt Tourを提案しよう」

RUBRIC

タグ	観点 (到達目標)	A	B	C
1	疑問・課題を見出すことができる 課題解決に必要な仮説を立てることができる	以下の2点を満たしている。 ・ターゲットがどのような気持ちになりたいのか・何を求めているのかを説明できている ・自分たちのオススメする絵/展示物がいかにその要求を満たすものなのかを説明できている	以下のどちらか1点を満たしている。 ・ターゲットがどのような気持ちになりたいのか・何を求めているのかを説明できている ・自分たちのオススメする絵/展示物がいかにその要求を満たすものなのかを説明できている	以下のどちらも満たしていない。 ・ターゲットがどのような気持ちになりたいのか・何を求めているのかを説明できている ・自分たちのオススメする絵/展示物がいかにその要求を満たすものなのかを説明できている
16	成果物を使って共感を得る発表をすることができる	ほぼよどみなく話すことができおり、内容を理解した上で自然な間を取ることもできている。また、抑揚や発音が全体を通じて自然であり、理解しやすい。	早すぎたり遅すぎたりして、自然な間をとることがややできていない。あるいは、抑揚や発音が一部理解しづらいところがある。	早すぎたり遅すぎたりして、自然な間をとることがほぼできていない。あるいは、抑揚や発音が全体的に理解しづらい。

MEMBER & TARGET

Group A
“Oliver”

Group B “Chloe”

Group C “J&J”

Group D
“Oliver”

Group E “Chloe”

Group F “J&J”

Group G
“Oliver”

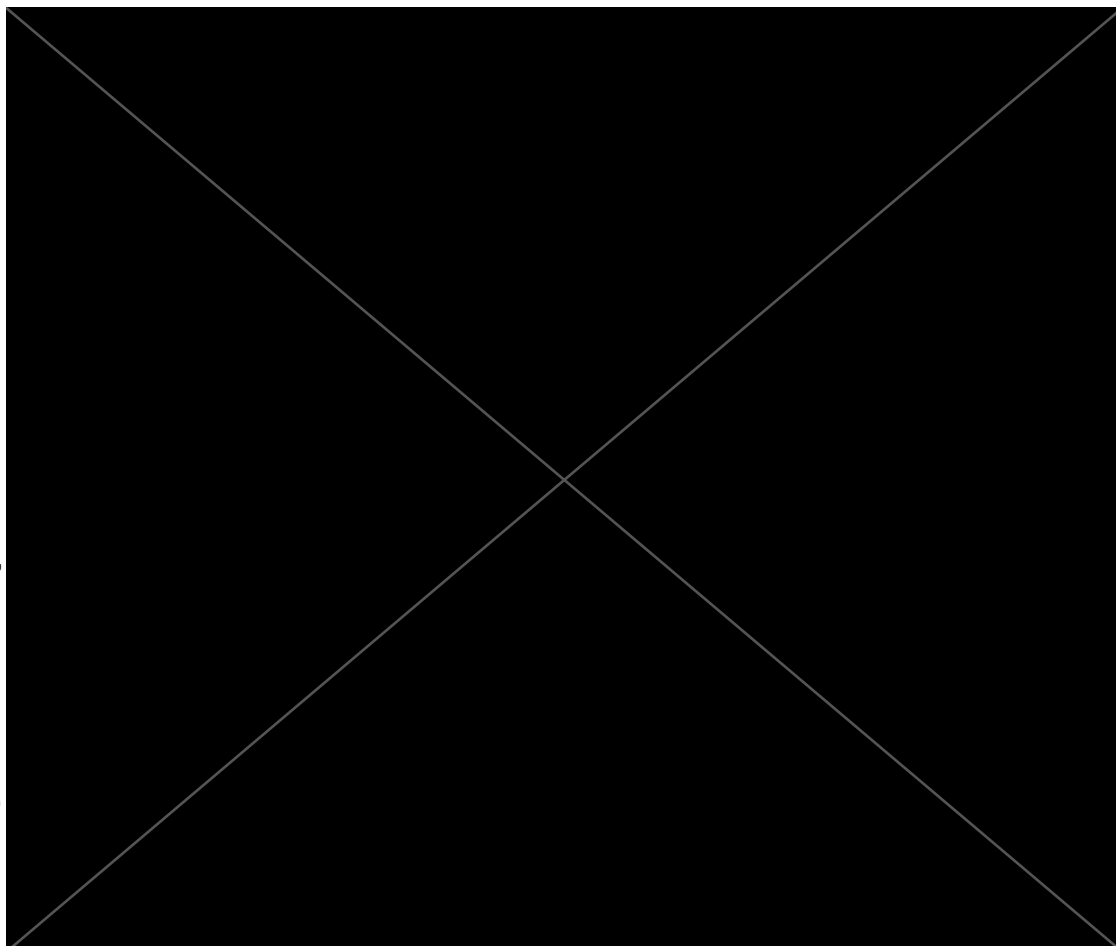
Group H “Chloe”

Group I “J&J”

Group J “Oliver”

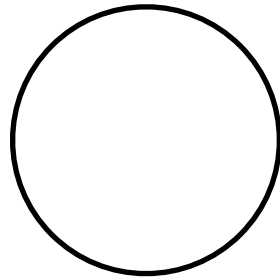
Group K “Chloe”

Group L “J&J”



STEP 01: Let's make your original art tour.

▶ マインドマップでアイデアを出そう



- ☑ どこにどんな絵／展示物があるのかフロアマップで確認しよう
- ☑ 1人が1つの場所（ルート）の説明を担当する
- ☑ 9:30～12:00で見て回れるツアーにすること
- ☑ ターゲットにどんな課題・要求があるからそのルートにしたのか説明すること
- ☑ 各ルートで”オススメの1枚/展示”を必ず伝えること

